

ソーシャルメディアを活用し、農福連携の取組を農業者等へ情報発信

農福連携の推進に向け、拠点内に「農福連携チーム」を立ち上げ、県拠点独自でパンフレットやYouTube動画を作成し、県・市町村やJAと連携して農業者等へ情報発信

○ 施策分類

農福連携

(農福連携等に取り組む主体を令和6年度までに新たに3,000創出)

○ きっかけ・背景、課題の把握

福祉事業者や農業者等と意見交換において、農福連携の取組が「知られていない」ことを実感。当拠点内に地区担当の垣根を越えて「農福連携チーム」を立ち上げ、農業者や一般消費者向けのパンフレットやYouTube動画を作成し、県・市町村等も巻き込みながら情報発信に取り組むことを立案。

○ 取組の内容

パンフレットは、農業者が農福連携に取り組むきっかけとなるよう県とも情報共有を図りながら作成。雇用に対する農業者の心理的不安を払拭できる内容とし、県内全市町村及びJAと連携して農業者へ配布。(配布枚数：54市町村で1,080枚、20JAで600枚)

YouTube動画は、福祉事業所及びスーパーに動画作成の協力を依頼し、一般消費者に農福連携の取組を「知ってもらえる」きっかけとなるよう当局WEBサイト等を活用し広く情報発信。(動画再生回数：1,781回)

○ 効果、今後の方向性

パンフレット及びYouTube動画を活用した周知活動により、愛知県の農福連携相談窓口には「おためし農福」に関する問合せや相談等が増加。今後は取組を継続することで「ノウフクJAS」の認知度を高め、認証増加に向けて理解を醸成。



農業者向け農福連携パンフレット



農福連携作業の様子



当拠点作成BUZZ MAFF動画



動画撮影の様子

